

# 実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、2023年10月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 税理士の登録を受けていないFPが、無料相談会において、相談者が持参した資料に基づき、相談者が納付すべき所得税の具体的な税額を計算した。
2. 生命保険募集人、保険仲立人または金融サービス仲介業の登録を受けていないFPが、変額年金保険の一般的な商品内容について有償で説明した。
3. 投資助言・代理業の登録を受けていないFPが、顧客が保有する投資信託の運用報告書に基づき、その記載内容について説明した。

## 問2

下記は、近藤家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値として、誤っているものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

<近藤家のキャッシュフロー表>

（単位：万円）

経過年数			基準年	1年	2年	3年	4年
西暦（年）			2023	2024	2025	2026	2027
家族・ 年齢	近藤 隼人	本人	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳
	由美香	妻	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳
	純也	長男	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳
	理子	長女	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
ライフイベント		変動率		純也 中学校入学	海外旅行		純也 高校入学
収入	給与収入(本人)	1%	628	634			
	給与収入(妻)	1%	572				
	収入合計	—	1,200				
支出	基本生活費	1%	593			(ア)	
	住宅関連費	—	184	184	184	184	184
	教育費	—	130	140	130	130	140
	保険料	—	40	40	40	40	40
	一時的支出	—					
	その他支出	—	50	50	50	50	50
	支出合計	—		1,013			
年間収支				(イ)	135		
金融資産残高		1%		896	(ウ)		

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2023年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1. (ア) 611
2. (イ) 199
3. (ウ) 1,041

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

### 問3

下記<資料>に基づくWX株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。  
なお、記載のない事項は一切考慮しないものとし、計算結果については表示単位の小数点以下第3位を四捨五入すること。

<資料：WX株式会社に関するデータ>

株価	2,000円
1株当たり純利益（今期予想）	300円
1株当たり純資産	2,200円
1株当たり年間配当金（今期予想）	30円

1. 株価純資産倍率（PBR）は、1.1倍である。
2. 配当性向は、10%である。
3. 配当利回りは、1.36%である。

### 問4

下記<資料>は、香川さん、細井さんおよび大津さんがWA銀行（預金保険制度の対象となる銀行）で保有している金融商品の時価の一覧表である。WA銀行が破綻した場合、この時価に基づいて預金保険制度によって保護される金額に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

<資料>

	香川さん	細井さん	大津さん
普通預金	100万円	180万円	700万円
定期預金	500万円	300万円	350万円
外貨預金	300万円	—	—
株式投資信託	—	300万円	—

※香川さん、細井さんおよび大津さんはいずれも、WA銀行からの借入れはない。

※普通預金は決済用預金ではない。

※預金の利息については考慮しないものとする。

1. 香川さんの金融商品のうち、保護される金額の合計は600万円である。
2. 細井さんの金融商品のうち、保護される金額の合計は780万円である。
3. 大津さんの金融商品のうち、保護される金額の合計は1,050万円である。

問5

景気動向指数に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句として、最も適切なものはどれか。

	採用指標名（抜粋）
先行系列	・ 新規求人数（除く学卒） ・ 新設住宅着工床面積 ・ （ア）
一致系列	・ 鉱工業用生産財出荷指数 ・ 耐久消費財出荷指数 ・ （イ）
遅行系列	・ 常用雇用指数（調査産業計、前年同月比） ・ 完全失業率（逆サイクル※） ・ （ウ）

※「逆サイクル」とは、指数の上昇・下降が景気の動きと反対になる指標であることを指す。

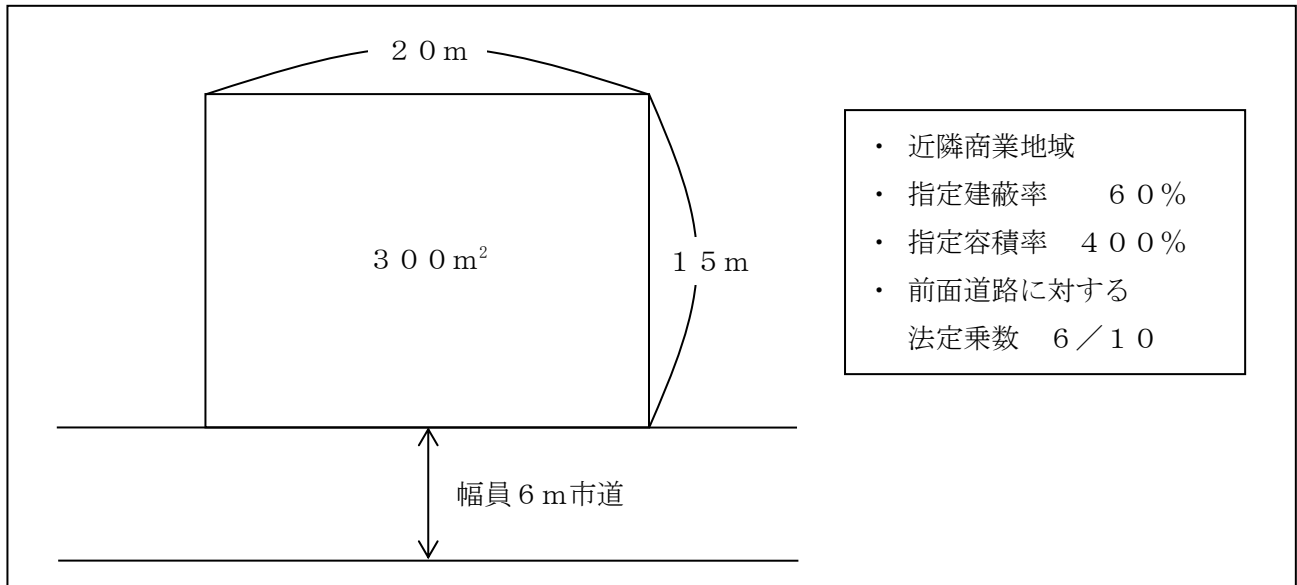
1. （ア）有効求人倍率（除く学卒）
2. （イ）東証株価指数
3. （ウ）消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）

【第3問】下記の（問6）～（問8）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記〈資料〉の土地に建築物を建築する場合の延べ面積（床面積の合計）の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないものとする。

〈資料〉



1. 180 m<sup>2</sup>
2. 1,080 m<sup>2</sup>
3. 1,200 m<sup>2</sup>

### 問7

土地登記記録に関する下表の空欄（ア）～（ウ）に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

＜土地登記記録の構成＞

土地登記記録	表題部	（ア）	
	権利部	甲区	（イ）
		乙区	（ウ）

1. 当該土地が初めて造成されたときに、所有権保存登記がされるのは、表題部（ア）である。
2. 当該土地の地目や面積等が登記されるのは、権利部甲区（イ）である。
3. 金融機関から融資を受け、土地を担保として抵当権が設定される場合、抵当権設定登記がされるのは、権利部乙区（ウ）である。

### 問8

都市計画法に基づく都市計画区域に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

市街化区域	すでに市街地を形成している区域およびおおむね（ア）年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域
市街化調整区域	市街化を（イ）すべき区域
非線引き区域	（ウ）の定められていない都市計画区域


1. （ア） 5 （イ）抑制 （ウ）用途地域
2. （ア）10 （イ）抑制 （ウ）区域区分
3. （ア）10 （イ）調整 （ウ）区域区分

【第4問】下記の（問9）～（問11）について解答しなさい。

問9

山根正人さんが加入している終身医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとする。また、正人さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 終身医療保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	山根 正人 様	保険契約者印	◆契約日（保険期間の始期） 2018年7月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	山根 正人 様 契約年齢 50歳 男性		
受取人	〔給付金受取人〕被保険者 様 〔死亡保険金受取人〕山根 桜 様 ＊保険契約者との続柄：妻		
■ ご契約内容			
給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間	
入院給付金	日額 10,000円 ＊病気やケガで2日以上入院をした場合、入院開始日を含めて1日目から支払います。 ＊同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。	終身	
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 ＊所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて、手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。		
死亡・高度障害保険金	保険金 1,000,000円 ＊死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。		
■ 保険料の内容		■ その他付加されている特約・特則等	
払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月           ：毎月		保険料口座振替特約 ＊以下余白	

正人さんは、2023年10月に交通事故により約款所定の手術（給付倍率10倍）を1回受け、その後継続して12日間入院した。また、同年12月には急性心筋梗塞で継続して7日間入院し、その後死亡した。この場合に支払われる保険金および給付金は、合計（ア）である。



1. 1,170,000円
2. 1,190,000円
3. 1,290,000円

問10

西里光一さんが2023年中に支払った生命保険の保険料は下記<資料>のとおりである。この場合の光一さんの2023年分の所得税の計算における生命保険料控除の金額として、正しいものはどれか。なお、<資料>の保険について、これまでに契約内容の変更はないものとする。また、2023年分の生命保険料控除額が最も多くなるように計算すること。

<資料>

<p>[終身保険（無配当、新生命保険料）]          契約日：2015年1月1日          保険契約者：西里 光一          被保険者：西里 光一          死亡保険金受取人：西里 由美子（妻）          2023年の年間支払保険料：78,600円</p>
--

<p>[医療保険（無配当、介護医療保険料）]          契約日：2018年3月1日          保険契約者：西里 光一          被保険者：西里 光一          死亡保険金受取人：西里 由美子（妻）          2023年の年間支払保険料：48,300円</p>
---

<所得税の生命保険料控除額の速算表>

[2012年1月1日以後に締結した保険契約（新契約）等に係る控除額]

年間の支払保険料の合計		控除額
20,000円 以下		支払保険料の全額
20,000円 超	40,000円 以下	支払保険料×1/2+10,000円
40,000円 超	80,000円 以下	支払保険料×1/4+20,000円
80,000円 超		40,000円

(注) 支払保険料とは、その年に支払った金額から、その年に受けた剰余金や割戻金を差し引いた残りの金額をいう。

1. 39,650円
2. 40,000円
3. 71,725円

### 問 1 1

伊丹さんは地震保険の加入を検討しており、FPの筒井さんに質問をした。地震保険に関する筒井さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「地震保険の保険料は、保険会社による違いはありません。」
2. 「地震保険の損害認定の区分は、『全損』『半損』『一部損』の3区分に分けられています。」
3. 「地震保険の保険金額は、火災保険の保険金額の30%～50%の範囲内で設定されますが、居住用建物については5,000万円が上限となります。」

【第5問】下記の（問12）～（問14）について解答しなさい。

問12

所得税の青色申告特別控除に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

- ・ 不動産所得または事業所得を生ずべき事業を営んでいる青色申告者で、これらの所得に係る取引を正規の簿記の原則（一般的には複式簿記）により記帳し、その記帳に基づいて作成した貸借対照表および（ア）を確定申告書に添付して法定申告期限内に提出している場合には、原則として、これらの所得を通じて最高（イ）を控除することができる。
- ・ この（イ）の青色申告特別控除を受けることができる人が、所定の帳簿の電子帳簿保存または国税電子申告・納税システム（e-Tax）により電子申告を行っている場合には、最高（ウ）の青色申告特別控除が受けられる。

1. （ア）損益計算書 （イ）10万円 （ウ）55万円
2. （ア）損益計算書 （イ）55万円 （ウ）65万円
3. （ア）収支内訳書 （イ）55万円 （ウ）65万円

問13

給与所得者の横川忠さん（50歳）は、生計を一にしている妻の由紀さん（48歳）に係る配偶者控除または配偶者特別控除について、FPで税理士でもある小田さんに質問をした。忠さんと由紀さんの2023年分の所得等の状況が下記＜資料＞のとおりである場合、小田さんが行った次の説明の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないものとする。

＜資料＞

横川 忠さん	合計所得金額（給与所得のみ）	600万円
横川 由紀さん	合計所得金額（給与所得のみ）	43万円

[小田さんの説明]

「納税者の配偶者の合計所得金額が（ア）以下の場合、配偶者控除が適用され、（ア）超133万円以下の場合には配偶者特別控除が適用されます。なお、納税者の合計所得金額が（イ）超の場合、配偶者の所得金額にかかわらず、配偶者控除および配偶者特別控除の適用を受けることができません。従って、忠さんの所得税の計算上、（ウ）の適用を受けることができます。」

1. （ア）38万円 （イ）1,000万円 （ウ）配偶者特別控除
2. （ア）48万円 （イ）900万円 （ウ）配偶者特別控除
3. （ア）48万円 （イ）1,000万円 （ウ）配偶者控除

#### 問 1 4

野村さんは、15年前に購入し、現在居住している自宅の土地および建物を売却する予定である。売却に係る状況が下記<資料>のとおりである場合、所得税における課税長期譲渡所得の金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないものとする。

<資料>

譲渡価額（合計）：6,000万円

取得費（合計）：1,500万円

譲渡費用（合計）：500万円

※居住用財産を譲渡した場合の3,000万円特別控除の特例の適用を受けるものとする。

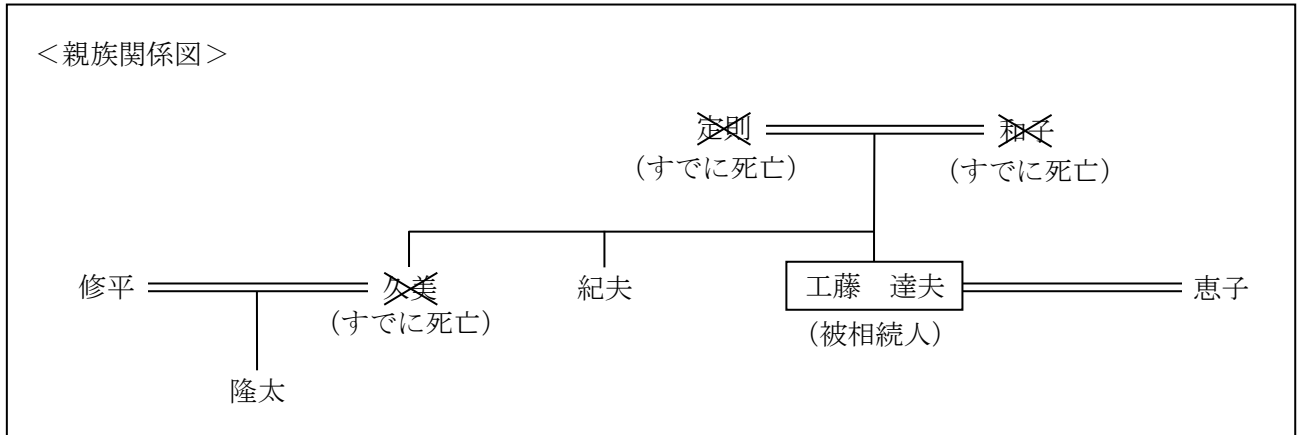
※所得控除は考慮しないものとする。

1. 1,000万円
2. 1,500万円
3. 4,000万円

【第6問】下記の（問15）、（問16）について解答しなさい。

問15

2024年1月5日に相続が開始された工藤達夫さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないものとする。



1. 恵子 2/3      紀夫 1/3
2. 恵子 3/4      紀夫 1/4
3. 恵子 3/4      紀夫 1/8      隆太 1/8

問16

神田綾子さんは、夫から居住用不動産の贈与を受けた。綾子さんは、この居住用不動産の贈与について、贈与税の配偶者控除の適用を受けることを検討しており、FPで税理士でもある米田さんに相談をした。この相談に対する米田さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句または数値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

[米田さんの回答]  
「配偶者から居住用不動産の贈与を受けた場合、その（ア）において、配偶者との婚姻期間が20年以上あること等の所定の要件を満たせば、贈与税の配偶者控除の適用を受けることができます。なお、贈与税の配偶者控除の額は、最高（イ）万円です。」

1. (ア) 贈与があった年の1月1日      (イ) 1,000
2. (ア) 贈与があった年の1月1日      (イ) 2,000
3. (ア) 贈与があった日                      (イ) 2,000

【第7問】下記の（問17）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

有馬智孝さんは株式会社TSに勤務する会社員である。智孝さんは今後の生活設計について、FPで税理士でもある最上さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2024年1月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	備考
有馬 智孝	本人	1968年10月17日	55歳	会社員
弘子	妻	1973年 5月 4日	50歳	会社員
敬太	長男	2003年 9月10日	20歳	大学生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	370
定期預金	800
財形年金貯蓄	280
投資信託	450
上場株式	320
生命保険（解約返戻金相当額）	125
不動産（自宅マンション）	3,900

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：240万円（債務者は智孝さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないものとする。

問 17

F Pの最上さんは、有馬家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答するものとする。

＜有馬家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]	×××	[負債]	×××
		負債合計	×××
		[純資産]	（ ア ）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 2,345（万円）
2. 6,005（万円）
3. 6,245（万円）

問 18

智孝さんは、60歳で定年を迎えた後、公的年金の支給が始まる65歳までの5年間の生活資金に退職一時金の一部を充てようと考えている。退職一時金のうち500万円を年利1.0%で複利運用しながら5年間で均等に取り崩すこととした場合、年間で取り崩すことができる最大金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないものとする。

＜資料：係数早見表（年利1.0%）＞

	終価係数	資本回収係数	減債基金係数
5年	1.051	0.20604	0.19604

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 980,200円
2. 1,030,200円
3. 1,051,000円

### 問19

智孝さんは、定年退職後の公的医療保険について、健康保険の任意継続被保険者になることを検討している。全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の任意継続被保険者に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

被保険者の資格喪失日から（ア）以内に申出をすることにより、最長で（イ）、任意継続被保険者となることができる。なお、任意継続被保険者となるためには、資格喪失日の前日まで継続して2ヵ月以上被保険者であったことが必要である。また、任意継続被保険者は、一定の親族を被扶養者とすること（ウ）。

1. （ア）14日 （イ）2年間 （ウ）はできない
2. （ア）20日 （イ）2年間 （ウ）ができる
3. （ア）20日 （イ）4年間 （ウ）はできない

### 問20

智孝さんは、通常65歳から支給される老齢基礎年金を繰り上げて受給できることを知り、FPの最上さんに質問をした。智孝さんの老齢基礎年金および老齢厚生年金の繰上げ受給に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、老齢基礎年金および老齢厚生年金の受給要件は満たしているものとする。

1. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額は、繰上げ年数1年当たり4%の割合で減額される。
2. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額の減額は、一生涯続く。
3. 老齢基礎年金を繰上げ受給する場合は、老齢厚生年金も同時に繰上げ受給しなければならない。